



香害(化学物質過敏症)の市民周知は進んでいるか

「庶民」岸 圭介

Q 香害(化学物質過敏症)で苦しんでいる人にとっては、身近な人が柔軟剤や消臭スプレー、農薬などを使わないことが解決策であると考えますが市民への周知は進んでいるか。

A 【経済環境部長】本市ではこれまで、化学物質過敏症に関する啓発記事や、国の関係省庁が作成した香害に関するポスターを市の公式ホームページに掲載したり、市役所本庁舎にポスターを掲示するなど、市民や来庁者への啓発に取り組んできた。本市独自に作成した啓発ポスターを市役所本庁舎、市内の小中学校及び伊勢原警察署に掲示した。

さらに、保健福祉部では、化学物質過敏症を発症している人が障がい者に含まれることなどを本年6月末に市の公式ホームページに掲載し、市民に周知した。

【その他の質問】

◎中学校部活の地域移行ほか



自転車に対する道路交通法改正の内容について

「志政会」米谷 政久

Q 令和4年に道路交通法が改正され、自転車を利用する全ての人の乗車時のヘルメット着用が努力義務になったが、本年5月に公布された改正道路交通法の内容について伺う。

A 【市民生活部長】道路交通法については、大きく3点の改正があった。

- ①携帯電話使用等および酒気帯び運転の禁止であり、自転車の運転中の携帯電話使用等および酒気帯び運転を禁止するとともに、罰則規定を整備し、交通事故防止を図る。②自転車等の安全を確保す



将来を見据え市営屋内温水プールの本格議論を

「いせはら未来会議」橋田 夏枝

布の日から6か月以内に、③は公布の日から2年以

内に施行される予定である。

【健康づくり担当部長】

Q 初期費用もランニングコストも多額な屋内温水プール施設は、すぐに実現できるとは考えていない。しかし、数年かけて庁内横断的に研究し、市民の声を聞きながら、必要性について議論していく姿勢が必要ではないかと考えるが、市の見解を伺う。

A 【健康づくり担当部長】屋内温水プールに限らず、スポーツ施設やそれ以外の公共施設についても、伊勢原市公共施設等総合管理計画や公共施設再配置プランを進める中で、庁内横断的な研究組織などを検討していく必要もあると考えている。

【その他の質問】

◎災害予防のための連携強化について



市民の命を守る防災・減災対策の推進を

「公明党」今野 康敏

Q トイレ環境の整備は命を守る取り組みに通ずるため、本市においてもトイレレトレーラーの整備を積極的に検討すべきと考えるが、見解を伺う。

A 【危機管理担当部長】トイレレトレーラーは、災害時の利用を想定して企画、設計された移動設置型のトイレで、災害発生時には迅速に避難所に駆けつけ、ライフラインの復旧状況などに関わりなく、日常に近いトイレを提供できるメリットがある。一方、購入費用が高額なことに加え、自走できないため、牽引する車両などの運搬手法や、その経費、通常時の保管

場所、維持管理費など、導入に向けては慎重な検討も必要であると考えている。また、災害時用トイレとしては、トイレレトレーラーのような移動式トイレは、牽引免許の要らないタイプや自走式のトイレカーなど、近年、さまざまな機能や価格の物も開発されている。先進事例の調査を行うと共に、さまざまな移動式トイレの情報収集を行うなど、災害時用トイレの充実に向けた検討を進めていきたいと考えている。

【その他の質問】

◎森林を活かした観光光源の創出について



教育長が望む理想の教育現場とは

「進風会」山田 昌紀

Q 教育現場は大変苦労が多いと考えるが、教育長が望む理想の教育現場について伺う。

A 【教育長】学校の一角には、地域の人たちが自由に集える場所があり、地域の人の姿が当たり前のように学校にあり、地域の人と子どもたちは自然に触れ合い、授業の補助をしながら子どもたちの支援を行っている人がいたり、小さい子を連れて保護者が授業参観やPTAの活動で学校にやってきた際は、小さい子はそこにいる地域の人たちが見守ってくれることもある。このような学校の中で、教職員、地域の人

たち、保護者などの大人たちは、校内のさまざまなところで緩やかに関わりながら楽しく活動している。こういった大人たちの姿を子どもたちが日常的に目にすることができると学校が理想だと考えている。その上で地域の人と学校と家庭がよりよくコミュニケーションを取ることで、お互いに困っていることを話し合ったり、何ができるかを一緒に考えたりできることが理想の教育現場ではないかと考えている。

【その他の質問】

◎市道における歩道整備について



浸水箇所から市としてポンプ排水するなどできないか

「志政会」越水 崇史

Q 雨水による浸水箇所の発生は、民地に設置した排水管頼みの状況が原因と考えるが、市民の生命財産を守るために、市として最寄りの雨水管までポンプ排水するなどできないか伺う。

A 【下水道担当部長】当該浸水箇所の最寄りの雨水管として、(市道76号線内に埋設されている)雨水矢羽根第3-1幹線がある。この雨水管は、市

道76号線に隣接する市街化区域を主な集水域として整備された雨水管であり、当該地区は集水域に含まれていない。流下能力については当該地区を含めていないため、大雨時、当該地区の雨水を最寄りの雨水管へ排水することは、新たな箇所での浸水被害が生じる可能性があるため、最寄りの雨水管へポンプ排水することとは難しいと考える。

所属会派名は9月定例会一般質問時点の会派名を記載しています。

議会日誌

- 8月 8日・議会運営委員会 9日・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会 14日・9月3日 9月定例会 14日・議会広報委員会 22日・総務委員会 23日・教育福祉委員会 29日・議会運営委員会 9月 3日・会派代表者会議 6日・都市計画審議会 10月 2日・総務委員会 産業建設委員会 教育福祉委員会 3日・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会 4日・全員協議会 8日・議会運営委員会 9日・10日 全国市議会議長会研究フォーラム 15日・関東市議会議長会理事会 16日・10月臨時会 18日・議会広報委員会 25日・議会運営委員会 29日・県市議会議長会定例会 30日・金目川水害予防組合議会

常任委員会勉強会を実施

委員会が所管する施策、事業について先進的な取り組みを行っている自治体を講師に迎え、勉強会を開催しました。 ●教育福祉常任委員会 令和6年10月22日(火) 神奈川県二宮町・小中一貫教育「にのみや学園」について

議員の住所と電話番号が変わりました 越水 崇史 桜台3-1-20 ☎63-0855

過去の議会だよりをホームページから御覧いただけます。 [QR Code]